

コスメ商品購入時の利用スポットを 想起させる商品推薦の提案

安田莉子 栗達（京都産業大学）
熊本忠彦（千葉工業大学）
河合由起子（京都産業大学/大阪大学）

研究概要

【背景】 ネット通販の需要が急増

【問題提起】 商品の利用目的は限定できるが、使用場所の限定は難しい

(例) 結婚式で使おうと華やかな色のコスメを購入したが、別の使いどきがわからない

(例) 学校や職場、お葬式でのメイクは、どのような色を使えば良いのかわからない

【目的】 ユーザにコスメ商品の利用場所を想起させる商品推薦システムの開発

- 利用場所ごとに商品との関連性を抽出

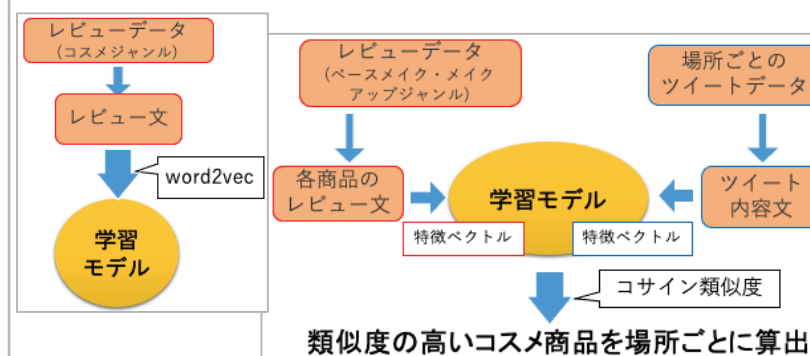
The screenshot shows a mobile app interface with two main sections. The left section displays a product 'リップ ルージュレッド' (Lip Rouge Red) with a price of ¥1,000 and a 'レビューを見る' (View Reviews) button. Below it, a map shows the location '清水寺' (Kiyomizu-dera Temple) with a red pin and a text box that says 'この商品を使うならここ!' (If you use this product, go here!). The right section is titled '清水寺の検索結果' (Search Results for Kiyomizu-dera Temple) and shows a map with a red pin at the temple. Below the map, it says 'このスポットにオススメのコスメ' (Recommended cosmetics for this spot) and lists three items: 1. Lip Rouge Red, 2. Lip Rouge Pink, and 3. Lip Rouge White. A text box next to the map says 'この時期は紅葉が見頃! 口元を赤く染めて絶景を堪能しよう!' (This time is the best time to see autumn leaves! Stain your lips red to enjoy the beautiful view!). At the bottom, it says '他のおすすめスポットはこちら' (Here are other recommended spots) and lists '大坂城公園' (Osaka Castle Park) and '伏見稲荷' (Fushimi Inari).

提案手法

1. コスメレビューを用いてword2vec用の学習モデルを生成
 - 形態素解析器Mecabで名詞と形容詞を抽出
 - word2vecの単語ベクトルは300次元に設定
2. 学習モデルからコスメレビュー文とスポット周辺のツイート内容テキストの特徴ベクトルをそれぞれ生成
 - 形態素解析は名詞と形容詞を採用
 - 単語の特徴ベクトルの平均を算出
3. 特徴ベクトルより、コサイン類似度を算出し、ランキング

【使用データ】

- 商品レビュー（楽天市場, コスメ）
- ツイートデータ
- 商品数：26,732アイテム
- スポット：大学、病院、etc.
- レビュー総数：111,220件
- 半径1kmのツイートを収集
- ※特徴ベクトル生成時は子ジャンル使用 - ツイート総数：37,414件



今後の課題

- 精度検証、評価
- アンケートによる評価
 - 利用スポット最適度
 - 利用スポット順位

【謝辞】 本研究は、「科研費19K12240、20H04293」の助成を受けたものである。ここに記して謝意を表す。